基準5 教育内容及び方法

(1) 観点ごとの分析

<準学士課程>

観点 5 - 1 - ①: 教育の目的に照らして、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。また、授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿って、教育の目的を達成するために適切なものとなっているか。

(観点に係る状況)

授業科目の学年ごとの配置一覧資料として、「学則第 14 条の別表 1」がある(資料 5 - 1 - ① - 1、2)。これは、一般科目及び学科の専門科目ごとに、カリキュラムとして各学年で履修する授業科目とその単位数、及び必修科目と選択科目の区分が示されている。本規則は、他の規則や心得とともに「学生便覧」としてまとめられ、毎年全学生に配付され、学生及び教職員は携帯情報端末を用いて常時それらを閲覧できる。また、同様のものが本校ウェブサイトでも公開されている。

教育課程の体系的に示す資料として、学科ごとの学習教育目標に沿った「授業科目関連図」がある(資料 5-1-(1-3)。これは 5 年間で学ぶ全ての授業科目について、一般科目から専門科目までの関連を図で表している。

授業内容はシラバスに記載されている(資料 $5-2-①-2\sim5$)。シラバスには科目ごとに、授業目標、授業の計画・方法等、到達目標、成績評価の方法・基準が示されており、学習・教育目標(A) \sim (F)(資料 $1-1-①-8\sim10$ ($9\sim11$ ページに前出))との関連性を明記している。

(分析結果とその根拠理由)

一般科目及び専門科目の学年配置は、各学科の学習・教育目標に沿って設定されたものであり、その授業科目関連図から教育課程の体系化が確保されている。教育課程の編成の趣旨に沿って、教育の目的を達成するために、各授業科目内容がシラバスに記載されている。また、学生はそれらの内容について携帯情報端末を用いて常時閲覧することができる。よって、授業内容は教育課程の編成の趣旨に沿って、教育の目的を達成するために適切なものになっている。

資料5-1-①-1

「学則・別表1 一般科目」

一 般 科 目

X		授業科目	省 4 5 米4	単位数					
区分				1年	2年	3年	4年	5年	備考
	E		I 3	3					
	124		П 3		3				
	量五 田口	国 語 1	II 2			2			
	111.4		見 1				1		*
			里 1		1				
	1	哲	学 1				1		*
	+	人間と科学技術	術 2					2	*
			上 2	2					
	人文・社会		里 2	2					
	会	政治・経行	斉 1		1				
-	2	世界経済り環境地理学	史 1			1			
		環境地理学	学 1				1		*
		基礎数学力	A 4	4					
	数	基礎 数学]	В 3	3					
	30X	微積分	I 4		4				
	学	微積分	П 3			3			
	,	線形代数	数 3		3				
		数学演音	当 1			1			
			1 2	2					
	2000000		2 2		2				
	理	物 理:	3 1			1			
股			1 2	2					
			2) 2		2				
	12020		2) 1			1	4 6		物質工学科以
	科	生物(M, E, Z	(2)		1				10111111111111111111111111111111111111
		化学ⅡA(C			2				物質工学科の。
		化学ⅡB(C) 2		2				初見上子作の
	情報		楚 2	2					
	体		I 3	3					
	Pale	保健・体育	II 2		2				
	育	保健·体育I				2			
科	19703	保健·体育I	V 2				2		
11.3	芸術		泉 1	1					
	術	美	桁 1	1					
			I 4	4					
	外		П 3		3				
	1		Ш 3			3			
	Œ		I 2	2					
	I-red	英語表現基礎	II 2		2				
	景石	英語表明	見 1			1			
	111.1	総合英語	I 2				2		*
		総合英語	П 2					2	*
		法 学 法 学]	A 1				1		*
	17.	法 学]	B 1			J	1		*
	必修	経 済 🕏	学 1				1		* 1
	修選		学 1				1		* 1
	択		論 1				1		* 1
	3/(语 1				1		* 1
			语 2				2		*
			0.0	31	24	15	9	4	物質工学科以
	-	般科目合言	83	31	25	14	9	4	物質工学科
	選	数学特言	論 1					1	177
	択	選択科目小記	iiii 1					1	

「*」印科目は必修選択科目2単位を含め6単位以上修得を要する。

(出典 学則第14条の別表1)

資料 5-1-①-2

「学則・別表1 機械工学科」

機械工学科

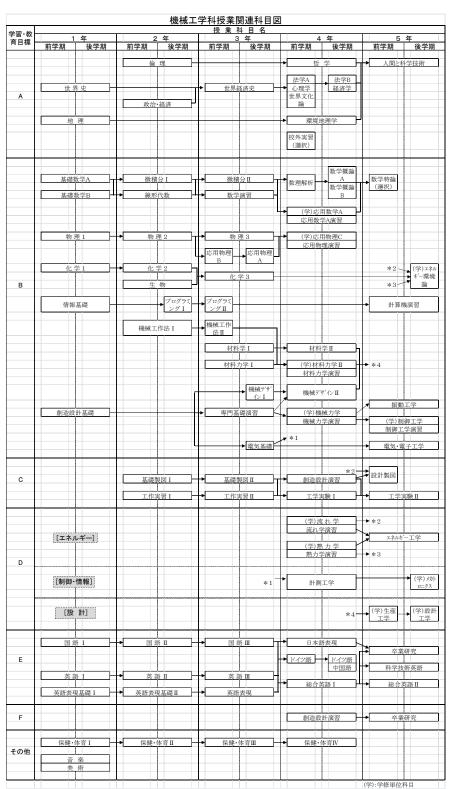
X.	10 24 11 17	1195	1/90 =		年別配	. ST		/-II: -I-/
分	授業科目	里 位 数	1年	2年	3年	4年	5年	備考
-	般 科 目 小 計	83	31	24	15	9	4	
-	般選択科目小計	1					1	
	専門基礎演習	2			2			
	数 理 解 析	. 1				1		*
-1-2	数学概論A/数学概論B*	1				1		*
専	応用数学A	2				2		*, 学
門	応用数学A演習応用物理A	1			-	1.		*
基	応用物理A	1			1			
從	応用物理C	2			-	2		*, 学
科	応用物理演習	1				1		3k
İ	プログラミングI	1		1				
-	プログラミングⅡ	1			1			
	計 算 機 演 習	2					2	*
	専門基礎科目小計	16	0	1.	5	8	2	
	創造設計 據礎	2	2					
	機械工作法工	2		2				
	機械工作法Ⅱ	1			1			
	材料学 I	2			2			
	材 料 学 Ⅱ	1				1		
	材料力学I	2			2			
	材料力学Ⅱ	2				2		学
	材料力学演習	1				1		
専	機械デザインI	1			1			
13	機械デザインⅡ	2				2		
	設 計 工 学	2					2	学
	機械力学	2				2		学
	機械力学演習	1				1		
	振動工学	2					2	116
	生 産 工 学 流 れ 学	2				-	2	学
11	流 れ 学 演 習	2				2		学
- 33	熱力学	2		_		1		.016
	熱力学演習	1				2		学
	エネルギー工学	2				1	2	
	エネルギー環境論	2					2	学
	電気基礎	1			1			7
	計 測 工 学	2			-	2		
科	制 御 工 学	2					2	学
	制御工学演習	1					1	,
	電気・電子工学	2					2	
	メカトロニクス	2					2	学
	科学技術英語	2					2	
	悲 礎 製 図 I	3		3				必
	悲 礎 製 図 Ⅱ	3			3			必
	設 計 製 図	2					2	·必·
	工作実習工	3		3				心
	工作実習Ⅱ	3			3			必
	創造設計演習	2				2		必
	工学実験工	3				3		必
	工学実験Ⅱ	3					3	必
	卒 業 研 究	8					8	必
	專門科目小計	77	2	8	13	22	32	
	校外実習(選択)	1-2				1-2		
32	械工学科合計	176	33	33	33	39	38	
够	択 科 目 合 計	2-3				1-2	1	

「※」科目は、いずれかを選択。
 「※」印料目の中から、6単位以上修得を要する。
 「学」印は、第14条第3項に規定する学修単位による授業科目を示す。
 「必」印は、必ず単位を修得しなければならない科目を示す。

(出典 学則第14条の別表1)

資料 5-1-①-3

「平成23年度シラバス抜粋 授業科目関連図 機械工学科」



(出典 高知高専平成23年度シラバス(授業計画)P.60)

観点5-1-②: 教育課程の編成又は授業科目の内容において、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等に配慮しているか。

(観点に係る状況)

本校「大学等における学修に関する規程」(資料 5-1-2-1, 2)では、他高専、短大、大学、外国の高校、大学での学修で単位認定が可能である。また、準学士課程においては、実用英語検定、情報技術者試験、各種専門的な国家資格等の資格を取得した場合に、学生が申請すれば、卒業要件に入る単位として認めている(資料 5-1-2-3)。この制度は平成 23 年度に発足したものである。平成 23 年度末までに行われた単位認定の申請人数は 32 名で準学士課程全学生 854 名の 3.7%に相当する(資料 5-1-2-4)。

4学年で実施している校外実習は,夏季休業を利用して,企業等で実務を経験することにより,学校で習得した知識及び技能を裏づけ,実践的・技術的感覚を養い,技術者として,また社会人として自覚を持たせることを目的としている(資料5-1-2-5, 6)。

観点 6-1-⑤で述べるように、本科卒業生・専攻科修了生へのアンケートや彼らの就職先企業へのアンケートを3年ごとに平成 19 年度、22 年度に実施し、その結果を社会の要請のひとつとしてとらえ、担当科目の授業改善に役立てている。例えば、創造力、指導力、問題解決能力の育成に関して、機械工学科では、4学年に実習形式の創造設計演習(資料 5-1-2-7)を開講し、学生の創造力や問題解決力、実践力、プレゼンテーション能力を向上させる工夫がなされている。

電気工学科は、電気、電子、情報を基礎とし、それらをシステムとして組み合わせる力を育成し、「ものづくり」をベースとした「創造性と統合化能力」を有する技術者の育成をめざす学科の教育内容をより分かりやすく表現した学科名に改めることとし、平成21年度より電気情報工学科に名称を変更した。また、建設システム工学科においても、これまでの環境・防災・情報を中心とした土木系科目に加えて、住宅・ビル建設や生活空間デザインに関わる建築系科目も含め、より一層幅広い建設系専門基礎知識を修得できる「総合社会基盤学科」へと発展するために、平成21年度より学科の教育内容をより的確に表現した「環境都市デザイン工学科」に名称を変更した。

(分析結果とその根拠理由)

他高等教育機関での学修の単位認定,校外実習による単位認定が,学校規則として整備されている。 また,専攻科教員は本科教員が兼ねており,専攻科教育との連携は十分実施されている。よって,学 生の多様なニーズ,学術の発展動向,社会からの要請に対応した教育課程の編成に配慮している。

資料 5-1-2-1

「大学等における学修に関する規程」

3. 教 務 関 係

1. 高知工業高等専門学校大学等における学修に関する規程

制 定 平成6年12月8日 最終改正 平成23年3月13日

(趣旨)

第1条 高知工業高等専門学校学則の第14条の2,第14条の3及び第27条の2に 規定する本校以外の教育施設等における学修(以下「大学等における学修」と いう。)については、この規程の定めるところによる。

(大学等における学修)

- 第2条 大学等における学修とは、次の各号の一に掲げる学修をいう。
 - (1) 他の高等専門学校における学修(学則第14条の2)
 - (2) 大学又は短期大学における学修(学則第14条の3)
 - (3) その他文部科学大臣が別に定める学修(学則第14条の3)
 - ① 大学の専攻科又は短期大学の専攻科における学修
 - ② 高等専門学校の専攻科における学修
 - ③ 専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のものにおける学修で、 本校において高等専門学校教育に相当する水準を有すると認めたもの
 - ④ 平成18年文部科学省告示第33号に基づき,国又は法人等が実施する技能審査で,全国的な規模で実施され適性かつ公平であり一定の条件を満たした知識及び技能に関する審査における成果に係る学修で,別表に掲げるもの
 - (4) 外国の高等学校又は大学における学修(学則第27条の2) (学修手続)
- 第3条 学生は、大学等における学修を行おうとするときは、大学等における学修許可願(様式1)に、その学修の許可及び内容を証明する書類を添えて、校長に提出するものとする。
- 2 前条第3号④による学修を行おうとする場合には、大学等における学修許可願(様式1)の提出をする必要はない。

(出典 高知高専 平成 23 年度 学生便覧 P. 44)

資料5-1-2-2

「大学等における学修に関する規程」

(単位認定申請)

第4条 学生は、大学等における学修を行い、単位の認定を受けようとするときは、大学等における学修単位認定申請書(様式2)に、その学修を証明する単位修得証明書、成績証明書又は合格証明書等を添えて校長に申請するものとする。

(修得単位の取扱い)

- 第5条 修得単位は、単位修得の認定申請を行った年度に在籍する学年の当該年 度の「課程修了に関わる単位」とする。
- 2 第2条に基づく学修の単位の認定は、次の各号の定めによるものとする。
- (1) 2月末日までに申請のあったものについては、当該年度内に行うものとする。
- (2) 第2条(1)(2)(3)による修得単位数の上限はあわせて30単位とする。 ただし,在学中における技能審査による認定単位数の上限は10単位とし, 語学系(海外英語研修を含む)で6単位以内,情報系で6単位以内,専門系で6単位以内とする。
- (3) 第2条(4)による修得単位数の上限は30単位とする。
- (4) 同一の技能審査において上位の審査基準に合格した場合は、当該上位の単 位数と既に認定された単位数との差を修得単位として認定する。
- (5) 外国人留学生に限り、日本語能力検定および日本漢字能力検定の合格者に 対して単位修得を認定する。
- (6) 語学系および情報系の認定単位は一般科目,専門系の認定単位は専門科目 とする。

附 則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年4月1日に在籍する者のうち、本学入学後に学修した第2条第3号 ④に規定する学修について、単位認定の申請があった場合は、本規程を適用す る。

(出典 高知高専 平成23年度 学生便覧P.45)

資料5-1-2-3

「技能審査の認定単位数」

別表 技能審査の認定単位数

	技能審查名	種別・級 等	認定 単位数		技能審查名	種別・級 等	認定 単位数
	語	学 系			専	門系	
	実用英語検定	1級	6		CAD利用技術者	1級	2
		準1級	4		and the properties of	2級	1
		2級	2		3次元CAD利用技術者	1級	2
		準2級	1		THE R P. LEWIS P. LLEVIN AND R. P. B. B. A.	準1級	1
	工業英語検定	1級	6		機械設計技術者試験	2級	4
		2級	- 4		ディジタル技術検定	3級	2
		3 級	2		アインタル技術快定	1 級	4
	TOEICテスト	860以上	6		電気主任技術者	2級	6
		730~855	4		电风土世权侧有	第2種 第3種	4
		470~725	2		電気工事士	第1種	4
		400~465	1		16.3(工-計工	第2種	2
	日本漢字能力検定	1級	6*		陸上無線技術士	第1級	4
		2級	6*		PE_L_255484X391_L	第2級	2
般		3 級	5*		電気通信主任技術者	伝送交換主任技術者	6
		4級	4*		电双周由工压探判书	線路主任技術者	6
		5 級	3*		電気通信工事担任者	AI·DI総合種	6
		6級	2*		地及通信工事程工程	AI第1種	6
		7級	1*			AI第2種	4
科	日本語能力検定	N 1	6*	専		AI第3種	2
		N 2	3*			DD第1種	6
	情	報系	SUM TO THE	1		DD第2種	4
	システム監査技術者試験		6			DD第3種	2
	I Tサービスマネージャ試験		6	1	危険物取扱者試験	甲種	6
	情報セキュリティスペシャリスト試験		6	Int	7GFX F7-FX ELLEVIA	乙種(1~6類)	各1
H	エンベデッドシステムフ	ペシャリスト試験	6	1.1	公害防止管理者試験	公害防止主任管理者	6
	データベーススペシ		6	1		大気関係	6
	ネットワークスペシ	ヤリスト試験	6	1		粉じん関係	6
	プロジェクトマネー		6	1		水質関係	4
	システムアーキテクト試験		6			騒音振動関係	4
	ITストラテジスト試験		6	科		ダイオキシン類関係	4
	応用情報技術者試験		4	1	環境計量士試験	濃度関係	6
	基本情報技術者試験		2	1		騒音·振動関係	6
	ITパスポート試験		1	1		一般計量士	4
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1	放射線取扱主任者試験	1種	6
				H		2種	2
	*留学生のみ対象			****		3種	1
					X線作業主任者試験		4
					カラーコーディネーター検定試験	1級	3
						2級	2
						3級	1
					福祉住環境コーディネーター検定試験	1級	3
						2級	2
					To delicate the second of the second	3級	1
					インテリアコーディネーター資格試験		1
					測量土		4
					測量士補		2
					技術士補	準1級	3
					建築CAD検定		
						2級	2
					21, 104 40-11	3級	1
					色彩検定	1級	3
						2級	2
					火薬類取扱保安責任者	3 級 甲種	2

(出典 高知高専 平成23年度 学生便覧P.46)

資料 5-1-2-4

「平成23年度の資格取得に伴う単位認定状況」

のべ数	語学系	情報系	専門系	合計
申請者	14	2	16	32
認定単位	19	3	19	41

(出典 平成23年度 学年末 学業成績一覧表より抽出)

資料 5-1-2-5

「校外実習の履修に関する規則」

2. 高知工業高等専門学校校外実習の履修に関する規則

制 定 平成4年4月23日 最終改正 平成21年4月1日

(趣旨)

第1条 この規則は、高知工業高等専門学校の校外実習の履修に関し必要な事項を定める。

(校外実習の授業)

第2条 「校外実習」の授業は、実習により行うものとする。

(校外実習機関)

- 第3条 学生が校外実習を履修する国又は地方公共団体の機関又は会社等の法人 (以下「校外実習機関」という。)は、教務委員会の議を経て校長が選定する。 (校外実習履修願)
- 第4条 校外実習を履修する学生は、別紙「様式1」の校外実習履修願を指導教員を経由して校長に提出しなければならない。
- 2 校長は、校外実習履修願の提出された学生につき、その健康状態などについ て調査したうえ、その履修を許可するものとする。

(校外実習申込書及び誓約書)

- 第5条 校外実習を許可された学生は、別紙「様式2」の校外実習申込書及び別 紙「様式3」の誓約書を校長を経て校外実習機関に提出しなければならない。
- 2 前項の校外実習申込書及び誓約書は、校外実習機関所定の校外実習申込書又 は誓約書をもって替えることができる。

(災害保険の加入)

第6条 校外実習を履修する学生は、別に学校が指定する災害保険に加入しなければならない。

(校外実習の履修)

第7条 校外実習学生は、校外実習機関の定める諸規則及び校外実習責任者(校 外実習機関における実習の責任者であって校長が委嘱する者をいう。以下同 じ。)の指示に従って校外実習を履修しなければならない。

(校外実習報告書)

第8条 校外実習学生は、別紙「様式4」又はこれに準じた校外実習報告書を実

-49 -

(出典 高知高専 平成 23 年度 学生便覧 P. 49)

資料5-1-2-6

「校外実習の履修に関する規則」

習終了後速やかに指導教員に提出しなければならない。 (校外実習の期間及び時間)

- 第9条 校外実習の期間は、2週間以上を原則とする。
- 2 校外実習の時間は、校外実習機関において定める時間とする。 (遵守事項)
- 第10条 校外実習学生は、実習の実施にあたっては本校の学生であることを充分 に自覚し、行動しなければならない。
- 2 前項の規定する遵守事項の実施に関し必要な事項は、この規則に定めるもの を除いては、校外実習機関で定めるところによる。 (単位の認定)
- 第11条 校外実習を履修し、各学科長から提出された成績の評価が「合」となった学生について、教務委員会および運営会議の議を経て、実働8日以上の場合は2単位を、実働4日以上8日未満の場合は1単位をそれぞれ修得したことを、校長が認定する。

(事務)

第12条 校外実習に関する事務は、学生課教務係において処理する。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、校外実習に関し必要な事項は、校長が定める。

附則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

様式1~4(省略)

-50 -

(出典 高知高専 平成 23 年度 学生便覧 P. 50)

資料 5-1-2-7

「機械工学科4年生対象「創造設計演習」のシラバス」

授	業	科	目	創造設計演習 (Creative	Des	sign Exe	ercise))	
科	目	番	号	2456-12	科	目	区	分	専門科目・必修
授	業 0) 形	式	実習	単位	なの種別	と単位	数	履修単位:3 単位
開	設	学	科	機械工学科	対	象	学	生	4 年生
開	彭	r Z	期	通年	週	時	限	数	3
担	뇔	á	者	前学期:竹島敬志,赤松重	則	後学期	: 宮田	岡	l,中山 信,M科全教員
研	究 室	の場	所	機械工学科棟2階(竹島,	宮田,	中山),	3 階	(赤	松)
オ	フィス	マアワ	_	16:20~17:10					
+	- 5	7 —	ド	強度計算,寿命計算,安全	性評	価, 口;	ボット	, t	ンサ、プログラミング
JA	BEE (との関	連	学習・教育目標(C), (F),	JABE	E 基準 1((1)(d)		

【授業の目標等】

技術者は今、高度な専門知識を有しているのはもちろんのこと、豊かな創造力を持ち、即戦力となることが社会から求められています。創造設計演習ではこれまで学習した専門知識を総動員し、各自の創造力を鍛え、発揮しながら与えられた課題の解決を行います。

[第1課題]機械デザイン、材料力学、工作法、工作実習などの専門知識と経験を総合し、設計から製作までの流れを体得し、専門知識を融合させた応用力と実践力を養うことを目的とします。 [第2課題] ロボットシステムに関する基礎知識、ハードウェアの製作スキル、プログラム製作のスキルを修得し、各自が独創的なロボットを設計・製作し、与えられた課題の実現を目指します。 [第3課題] 学生を少人数のグループに分けて各研究室に仮配属し、与えられた研究テーマに関する基礎知識の習得、問題解決方法とプレゼンテーションの基礎を養うことを目的とします。

【授業の計画・方法等 ※ [] 内の数字は何週目の授業であるかの目安】

[第1課題] 平歯車減速機(担当:竹島・赤松)

- 1. 設計計算書の作成[1-4]:機能計算による主要寸法をもとに設計計算書を作成する。
- 2. 計画図の作製[5-7]:設計計算書の結果から具体的な組立図を製図する。
- 3. 製作図の作製[8-15]:組立図をもとに部品図をCADにより作製する。

[第2課題] ライントレースロボットの設計と製作(担当:宮田・中山)

- 1. ガイダンス[16-17]: LEGO Mindstorm NXTの構成とプログラミングについて
- 2. ハード製作[18-19]: 走行マシンの製作, センサの動作実験, ライントレースの基礎
- 3. ライントレース競技[20-25]: ライントレースロボットの製作、タイムトライアル [第3課題] 各専門分野の基礎とプレゼンテーション(担当: M科全教員)
- 1. 研究テーマによる演習・実験[26-29]:問題解決のためのアプローチ法について学ぶ
- 2. 発表会 [30]: 研究テーマについて口頭および文書で報告する

【到達目標】

- 1. 基本的な強度計算により具体的な装置の安全性を評価できる。
- 2. 理解しやすい設計計算書を作成できる。
- 3. 丁寧で正確な機械製図ができ、CADで機械製図ができる。
- 4. 光・超音波センサ, サーボモーターをマイコンで制御できること。
- 5. 自分の考えを口頭および文章で分かりやすく説明できること。

【成績評価の方法・基準】

[第1課題]:計算書及び提出図面を80%,授業態度を20%の割合で総合的に評価する。提出期限 厳守であり、提出遅れや欠席は減点する。

[第2課題]:提出レポートを60%,授業態度を30%,競技結果を10%の割合で評価する。

[第3課題]:担当教員が、取り組み、報告書、および発表内容に基づいて評価する。

各期の成績は学年始めからの中間及び期末を平均して評価し、学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を総合的に評価する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書: 林 洋次他「機械製図」(実教出版) 参考資料: 適宜プリント等を配付する。

【履修上の注意】

常に自分の考えを持ち、普段からの知識や経験をフルに活用して授業に臨んでください。

【備 考】

観点 5 - 2 — ①: 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。

(観点に係る状況)

1学年~3学年での一般科目と専門科目は、4学年以上の学習教育目標達成のための教育の基礎となっている。したがって、低学年から講義、演習、実験、実習等がバランスよく配置されている(資料5-2-①-1)。個々の科目の教育内容は、シラバス中の授業の目標等、授業計画・方法等で明らかである(資料5-2-①-2~5)。例えば、4学年で開講されている日本語表現では、日本語で効果的に書く・話す技術を習得するために対話型のグループディスカッションやプレゼンテーションを実施する等学習指導方法の工夫がなされている(資料5-2-①-2)。

学級担任は、年間 4 回の定期試験ごとの成績一覧表を保管し、成績不振者への指導を実施している。また、各学年の成績不振者や進学希望者を対象とした「時間割記載の単位なし科目」を開講しており(資料 5-2—①-6)、学生の理解度に応じた学習指導が実施されている。その結果は学期末に各授業担当教員から教務委員会に報告され(資料 5-2—①-7、8)、教務委員を通じて全教員に報告されている。

(分析結果とその根拠理由)

カリキュラム設計では教育の目的に照らして、適切な授業形態が配慮されている。各授業はその教育目的に照らして、授業担当教員がシラバスを作成し、教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫を行っている。

「授業形態の割合」

学科	学年	講義	演習	実験	実習	研究
	1年	22	2		7	
	2年	23	1		10	
機械	3年	20	4	1	8	
	4年	25	5	3	5+1~2	
	5年	23	7	3		8
	1年	22	2		7	
	2年	24	2	3	4	
電気情報	3年	25	2	4	1	
	4年	26	6	3	4+1~2	
	5年	24	2	3		8
	1年	24	2		5	
	2年	23		4	6	
物質	3年	24	3	5	2	
	4年	18	8	6	2+1~2	
	5年	21	4	6		
	1年	23	3		5	
	2年	25			9	
環境都市デザイン	3年	23	2	1	7	
	4年	33	2		8+1~2	
	5年	26	1		8	8

(単位数)

※4年次に企業等で行う校外実習(選択科目)が1~2単位ある。

(出典 平成24年度シラバスより作成)

「平成24年度 講義系シラバス例」

授	業	科	目	日本語表現(Japanese Ex	pression)				
科	目	番	号	1412-12	科 目	区 分	一般科目·必履修		
授	業 0) 形	式	講義	単位の種別	と単位数	履修単位:1単位		
開	設	学	科	全学科	対象	学 生	4年生		
開	彭	r K	期	通年	周 時	限 数	1		
担	븰	á	者	細川光洋 (M, E, C), 永原	〔順子(Z)				
研	究 室	の場	所	総合科学科棟2階国語科研9	完室				
オ	フィス	スアワ	<i>–</i>	放課後 (事前に連絡することが望ましい)					
+	- 5	, <u> </u>	ド	書き方、話し方、聴き方、言語を含む身体表現、分析力					
JA	BEE 6	との良	連	学習・教育(到達)目標(E), J	JABEE 基準	生 1(1)(f),	JABEE 新基準 1(2)(f)		

日本語で効果的に書く/話すために必要な技術を習得する。 特に、スピーチやエントリーシー トなどへの実践的な取り組みを通して、日本語による自己アピール力を身につける。

【授業の計画・方法等 ※ []内の数字は何週目の授業であるかの目安】

- 1. 導入[1]: 授業の目標・年間予定について。
- 2. 聴く・友人紹介[2-3]: 演習を通じて話し手を導く「聴く」技術を発見する。また、聴き取った 情報から, 友人の紹介文を作成する。
- 3. 手紙を書く[4-5]: 挨拶の手紙や礼状の書き方を学ぶ。 (頭語・結語の約束と時候の挨拶)
- 4. 実用的な文章[6-7]: 案内文や返信はがき、送り状、礼状を書く。
- 5. 敬語の使い方[8-10]: 敬語の種類と正しい使い方を学ぶ。
- 6. 要約・小論文[11-13]: 文章の構成内容を適確にとらえ, 自分の意見を論理的に述べる。
- 7. 学生百人一首・川柳[14-15]: 学生生活で感じていることを短詩型で表現する。
- 8. 発想のレッスン[16]: さまざまな角度から物を考える練習をする。
- 9. 自己 PR 入門[17-18]: 「大好きマップ」を用いた自己 PR を、グループに分かれて実施。
- 10. グループ・ディスカッション [19-23]: 新商品プレゼンテーション。発表・相互評価を行う。
- 11. エントリーシート・履歴書の作成 [24-25]: 効果的なPR文の作成技術を身につける。
- 12. 分析と考察[26-30]: グラフや表データをもとに結果を分析し、考察をまとめる。

試験:前学期末,学年末

【到達目標】

- 1. 形式に則って手紙を書けるようになる。
- 場面にふさわしい言葉遣いができるようになる。
 自己を客観的に見る目を養い、自分について表現力豊かに話せるようになる。
- 4. データを分析・考察し、その結果を効果的に表現する方法を身につける。
- 5. 文章の構成内容を適確にとらえ、自分の意見を論理的に述べることができるようになる。

【成績評価の方法・基準】

成績評価は、定期試験60%、スピーチ・演習問題への取り組みや提出の状況40%の比率で行う。 技術者が身につけるべき専門基礎として, 国語表現力の修得の程度を評価する。 なお, 通年科目に おける後学期中間の評価は前学期中間、前学期末、後学期中間の各期間の評価の平均とする。

【教科書・教材・参考書等】

教科書:「大学生のための日本語表現実践ノート」(風間書房) 適宜補助的なプリントを併用する。

【履修上の注意】

各々の教材が自分自身の「経験」となるよう、主体的に取り組むこと。 随時、任意レポート・課題を提示するので、積極的に取り組んでほしい。 取り組みは成績点に組み入れる。

【備考】

「平成24年度 演習系シラバス例」

授	業	科	目	ネットワーク工学演習 (Experiments for Network Engineering)					
科	目	番	号	3573-12	科	目	区	分	専門科目・必履修
授	業 0) 形	式	演習	単位	の種別	と単	位数	履修単位:2単位
開	設	学	科	電気情報工学科(電気工学科)	対	象	学	生	5 年生
開	副	r. Ž	期	通年	週	時	限	数	2
担	뇔	á	者	山口 巧					
研	究 室	の場	所	電気情報工学科棟3階					
オ	フィク	スアワ	_	12:30~13:00, 16:30~17:00, 前日までに予約を					
+	- 5	7 —	ド	コンピュータネットワーク, Linux, ネットワーク管理者, セキュリティ					
JA	BEE	との関	連	学習・教育目標(B), JABE	E 基準	1(1)(d)		

【授業の目標等】

ネットワーク管理者にもなりえることを目的として、Linux を用いたサーバ構築の実習を行い、 インターネットサーバとしての機能・サービスを完成させる。これらにより「応用能力と自己開発 能力」を培わせるとともに社会的要求にも資する能力を身に付けさせることが目標である。

【授業の計画・方法等 ※ []内の数字は何週目の授業であるかの目安】

- 1. ネットワークサーバとクライアントマシンとは一Windows と Linux の利用上の違いー[1] 2. サーバマシン組立 [2] 3. Linux のインストール [3] 4. X Window system [4] 5. コマンド,シェル,カーネル [5] 6. 標準入力,標準出力,パイプライン [6] 7. ユーザ管理とリモートログイン [7-8] 8. 利用者から信頼される管理者になるための心構え [9]

- 9. クライアントとしての利用 (Windows マシンと同等の機能を実現する) [10] 10. プリンタの接続 [11] 11. http(Apache) [12]
- 12. 設定ファイルの書式と意味, ログの解釈 [13] 13. smtp(postfix,sendmail,qmail) [14]
- 14. MTA の役割と意義, 配送制御, 主要 MTA の性能比較 [15] 15. DNS(BIND) [16] 16. DNS の必要性と仕組み [17] 17. 主要 DNS の性能比較 [18] 18. ssh [19] 19. 公開鍵認証の原理, RSA 鍵認証, ポートフォワード [20]
- 20. inetd & TCP Wrappers, iptables, daemontools & tcpserver [21]
- 20. ineta & ICP wrappers, ipitables, daemonitoois & tepserver [21]
 21. ポート, デーモンとは, DoS 攻撃対策 [22] 22. 時刻(ntp), cron [23-24] 23. うるう秒問題 [25]
 24. 起動とファイルシステム, ランタイムレベルと様々な起動ファイル [26]
 25. 侵入者を防ぐために[27] 26. IP, TCP, UDP, ICMPとは [28]
 27. IPv6 アドレスの構造と表記方法 [29] 28. 総合レポート提出 [30]

試験:前学期中間,前学期末,後学期中間,卒業

【到達日標】

1. サーバマシンの実装ができる。2. Linux などの OS と各種サービスソフトウエアの導入が行え る。3. クライアント・サーバ型サービスの仕組みを理解する。4. 一般ユーザが各種サービスを 利用できる環境設定を行える。5. コンピュータセキュリティに関する知識と情報保護手法を習得 する。

【成績評価の方法・基準】

全てのレポート提出が完了していること。レポートはサービスなどの理解度、明確な文章かを基 準として評価(30%)、定期試験(60%)、授業態度(10%)を基本として総合的な評価を行う。学期 毎の評価は中間と期末の各期間の評価の平均、学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。

技術者が身につけるべき専門基礎として、インターネットサーバとしての機能・サービスを実践できる知識と能力の程度を評価する。なお、後学期中間の評価は前学期中間、前学期末、後学期中 間の各期間の評価の平均とする。

【教科書・教材・参考書等】

教科書:Linux サーバ構築標準教科書(特定非営利活動法人エルピーアイジャパン)クリエイテ ィブ・コモンズ・ライセンス下の電子テキスト

参考書: Craig Hunt「TCP/IP ネットワーク管理 第3版」(O'Reilly & Associates)

【履修上の注意】

情報通信ネットワーク (4 年) で学習した内容を実践するので、同講義の内容を理解しておいて ください。コンピュータ内部構造を含む実習中心の科目なので積極的に知識を得る姿勢が必要です。

【備考】

「平成24年度 実験系シラバス例」

授	業	科	目	創造実験(Creative Exp	創造実験(Creative Experiment)					
科	目	番	号	4554-12	科	目	区	分	専門科目・必修	
授	業 0	形	式	実験	単位の	の種別	と単位	立数	履修単位:3 単位	
開	設	学	科	物質工学科	対	象	学	生	5 年生	
開	彭	<u>P</u>	期	前学期	週	時	限	数	6	
担	뇔	á	者	物質工学科全教員						
研	究 室	の場	所	物質工学科棟, 生物工学核	(, 専功	女科棟				
オ	フィス	スアワ	_	放課後						
+	- 5	7 —	۲	化学実験、調査、アイデア、デザイン、実験書作成、演示						
JA	BEE	との関	月連	学習・教育目標(F), JABE	学習・教育目標(F), JABEE 基準 1(1)(d)(4)(e)(f)(g)(h)					

【授業の目標等】

化学や生物の理解は、それらを自在に駆使することによって初めて達成されたとみなすことができる。本実験では、これまでの授業や実験で修得してきた知識や技術を活用し、各自のアイデアとデザインを取り入れながら演示実験を組み立てる。作成した実験は実験書としてまとめるとともに、演示発表を行う。これらにより、専門基礎知識及び技術の応用力を養い、創造性、論理的思考力・記述力、及びプレゼンテーション能力を養うことを目標とする。

【授業の計画・方法等 ※[]内の数字は何週目の授業であるかの目安】

演示用の化学・生物実験を各自デザインし、実験書を完成させるとともに演示発表を行う。

- 1. オリエンテーション[1]: "研究と開発"とはどのようなことか講義形式で学ぶ。
- 2. 先行技術と文献調査[2]: 先行技術とその文献調査(科学技術文献)の仕方について学ぶ。
- 3. 発明と特許[3]: 特許と特許検索, および, 発明の特許化について学ぶ。
- 4. 論文の書き方[4]: 論文の書き方など理科系文章の書き方について講義形式で学ぶ。
- 5. グループワーキング(1)[5]: オリエンテーションを行い,実験テーマの探索を開始する。
- 6. グループワーキング(2)[6]: 実験テーマの調査と探索を行う。
- 7. グループワーキング (3) [7]: 実験計画を立案し、レポートを提出する。
- 8. グループワーキング (4) [8]: 実験書を作成する。
- 9. グループワーキング (5) [9]: 実験書を練るとともに、薬品・物品を調達し購入する。
- 10. グループワーキング (6) [10]: 実験書を練るとともに、薬品・物品を調達し購入する。
- 11. グループワーキング (7) [11]: 実験を試行し、改善をはかる。
- 12. グループワーキング (8) [12]: 実験を改善し、完成させる。
- 13. グループワーキング (9) [13]: 実験書を完成させ提出する。
- 14. 演示実験発表会[14]: 完成させた演示実験を発表する。
- 15. 片づけ [15]: 実験器具等を清掃し, 実験室を片づける。

定期試験:なし

【到達目標】

- 1. 各自演示実験を作成することにより、創造性を養う。
- 2. レポート・実験書を完成させ提出することにより、化学・生物の専門基礎を確認し、論理的思考力・記述力を身につける。
- 3. 演示発表することにより、実験器具の扱い方を確認するとともに、プレゼンテーション能力を養う。

【成績評価の方法・基準】

レポート 25%, 実験書 25%, 演示実験 25%, 実験態度 25%の割合で総合的に評価する。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を評価する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書:物質工学科の授業で使用した教科書全般

【履修上の注意】

多くの人が興味をもてる実験になるように創意工夫してください。環境に配慮した安全な実験になるよう注意してください。

【備 考】

「平成24年度 実習系シラバス例」

授	業	科	目	建築設計製図(Design and Drawing for Architecture)					
科	目	番	号	5544-12	544-12 科 目 区 分 専門科目・選択				
授	業 0	形	式	実習	単位	の種別	川と単位	位数	履修単位:3単位
開	設	学	科	環境都市デザイン工学科 (建設システム工学科)	対	象	学	生	5 年生
開	彭	ž	期	通年	通年 週 時 限 数 3				
担	뇔	á	者	西岡建雄					
研	究 室	の場	所	環境都市デザイン工学科核	東3階				
オ	フィス	マワ	_	16:20~18:00					
+	- 5	, <u> </u>	۲	コンセプト,デザイン,創造性					
JA	BEE 6	との関	連	学習・教育(到達) 目標(B),	JAB	EE 基	準1(1)(d),	JABEE 新基準 1(2)(d)

【授業の目標等】

与えられた設計課題に対する解決手法を学び、実例を解決するため自主的、独創的コンセプトづくりの出来る力をつける。

建築設計を体験的に学ぶために自主性を重視した設計課題に取り組み、基礎的設計、提案力を養う。

【授業の計画・方法等 ※[]内の数字は何週目の授業であるかの目安】

講義,実習,制作を繰り返す授業形態を取る。知識を得,問題解決手法を学び,学んだことに基づき,概念構築,計画,設計実習を行い,学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。

1. 建築設計総論 [1-3] : 建築設計の授業の全容。習得すべき課題。学習の心構えと方法。 建築設計とは。

作図手法の基本 デッサン演習、パース図作成演習

 課題1 [4-16]: (課題1) 住宅の設計製図,模型,プレゼンボード製作
 課題2 [17-30]: (課題2) 各自に設定した課題による設計製図,模型製作, プレゼンボード製作

【到達目標】

- 1. 建築設計製図技術の向上を目指す。
- 2. 建築模型の製作技術を学び、実践する。
- 3. 設計課題を自ら創造していく方法論を習得する。
- 4. 提案手法を学び、自ら実践、検討を加える。

【成績評価の方法・基準】

技術者が身につけるべき専門基礎として、製図については、正確さ、提出期限の厳守、仕上がりは明瞭・丁寧さなどにより評価する。設計方法などに関する基本的な事項の理解度は課題提出により確認し評価に加える。授業中の態度によって加点及び減点。合否は、基本的な事項を理解した上での課題製作の正確さと、製図を要求された課題はそれを完成させたか否かで判定する。学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を評価する。

【教科書・教材・参考書等】

教 材:日本建築学会「第3版コンパクト建築設計資料集成」、プリント

【履修上の注意】

4 年間で培った製図技術,これまで学んだ建築設計手法により,設計課題を解決し,効果的なプレゼンテーションのための成果品を作ることを学ぶ。

【備 考】

建築する喜びは与えられた課題を自らの手で解決したその瞬間にあります。考え、手を使って白い紙を黒くしていく過程での創作の喜びを体験してください。

注) 卒業時に一級・二級建築士受験資格を取得するための必修得科目です。

「平成23年度時間割記載の単位なし科目実施状況」

	前期	後期	備考
	数学演	習 A	
1 左 廾	数学演	習 B	油 九井田
1年生 	英語演習	₹基礎 I	週1時間
	物理演	習 1	
	微積分	演習	
2 年生	英語演習	基礎 II	週1時間
	物理演	習 2	
3 年生			
		英語演習	
4 年生	英語演習	物理学演習	週1時間
		化学演習	
5 年生	物理学演習		週1時間
0 井注	化学演習		地(时间

(出典 平成23年度前後期時間割から作成)

「平成23年度時間割記載の単位なし科目 実施状況報告書」

選択授業(単位のない時間割記載科目)実施報告

平成23年度 後学期分

時間割に記載されている選択科目のうち、シラバス(成績提出)の無い科目に関しては実施計画と実施報告をしていただくことが、平成20年度の教務委員会で決定いたしました。実施計画の様式はお任せいたしますが、実施報告はこの様式に準じたものを学期末ごとに教務主事室までご提 出ください。

科目名: 数学演習A	対象学生: 1年指名学生					
曜日・時限: 月曜・8時限	授業担当者: 高木・秦泉寺+TA (TAクラス担当教員 市木)					

実施 回数	月日	授業時間 1h、2hなど	授業内容	受講者数
1	10月17日	1h+α	連立不等式, 2次不等式	19名/23
2	10月24日	1h+α	不等式のまとめ(高次不等式含む)	19名/23
3	11月1日	1h+α	命題の真偽, 必要・十分条件	17名/23
4	11月14日	1h+α	集合,不等式の証明	23名/23
5	11月25日	1h+α	2次関数の標準形, 試験対策問題	23名/23
6	12月12日	1h+α	2次関数のグラフ、最大・最小	30名/31
7	12月19日	1h+α	2次関数と2次方程式の判別式との関係	27名/31
8	1月16日	1h+α	分数関数, 無理関数, 逆関数	25名/31
9	1月23日	1h+α	対称移動, 累乗根の計算, 指数の拡張	27名/31
10	1月30日	1h+α	指数関数, 指数方程式, 指数不等式	28名/31
11	2月6日	1h+α	対数の計算	26名/31
12	2月13日	1h+α	対数関数, 対数の大小, 対数方程式	28名/31
13				
14				
15				
16				
17				
18				

- ・受講者数は、TA担当クラスを含む指名学生の出席者数(分母は指名学生数)。
- ・受請有数は、「A担当プラスを含む指名子主の出席有数(万年は指名子主数)。 他に、自主参加学生数名。 ・授業時間は、課題全間正解まで実施するため、学生によっては1時間以上かかる学生もいるが 最後まで取り組んでいる。 ・出席状況は、毎回、学級担任に連絡している。

(出典 教務委員会資料 単位のない時間割記載科目の実施報告)

「平成23年度時間割記載の単位なし科目 実施状況報告書」

選択授業(単位のない時間割記載科目)実施報告

平成23年度 後学期分

時間割に記載されている選択科目のうち、シラバス(成績提出)の無い科目に関しては実施計画と実施報告をしていただくことが、平成20年度の教務委員会で決定いたしました。実施計画の様式はお任せいたしますが、実施報告はこの様式に準じたものを学期末ごとに教務主事室までご提出ください。

科目名:英語演習基礎II	対象学生:2年該当学生
曜日•時限:月曜日•8時限	授業担当者:赤山 幸太郎

実施 回数	月日	授業時間	授業内容	受講者数
1	10月17日	50分	分詞構文	13
2	10月24日	50分	Lesson4 part1の復習	16
3	11月1日	50分	Lesson4 part2の復習	13
4	11月14日	50分	Lesson4 part3の復習	16
5	11月21日	50分	Lesson4 part4の復習	15
6	12月5日	50分	Lesson5の予習	9
7	12月12日	50分	関係副詞	5
8	12月19日	50分	Lesson5 part1の復習	7
9	1月16日	50分	Lesson5 part2の復習	5
10	1月23日	50分	Lesson5 part3の復習	4
11	1月30日	50分	Lesson5 part4の復習	3
12	2月6日	50分	Lesson6 part1の復習	5
13	2月13日	50分	Lesson6 part2の復習	5
14	2月27日	50分	英語学習に関して3年生になるまでにやっておくべきことの指導	3
15				
16				
17				
18				

備考;該当学生とは、基本的に定期試験の素点の成績不振者のこと。12月12日からメンバー入れ替え。

(出典 教務委員会資料 単位のない時間割記載科目の実施報告)

観点5-2-②: 教育課程の編成の趣旨に沿って、シラバスが作成され、事前に行う準備学習、教育方法や内容、達成目標と評価方法の明示等、内容が適切に整備され、活用されているか。

(観点に係る状況)

教育課程の編成は教務委員会で審議される。その趣旨に沿ったシラバス(資料 $5-2-(1-2\sim5)$ の記載内容は、毎年統一した様式で作成されている。シラバスには、科目特性(科目番号、科目区分、科目名、授業形態、単位数、開設学科、対象学生、週時間数、担当者、オフィスアワー、研究室、キーワード、JABEE との関連)に加え、授業目標、授業計画・方法、到達目標、成績評価の方法・基準、教科書・教材等が記載されており、授業目標に対し達成すべき目標と達成度の評価基準・方法や関連科目を記述している。シラバスにより、受講学生が教育課程における当該科目の位置づけ及び関連科目との連続性を把握できるようになっている。年に2回、学生による授業評価アンケート(資料 5-2-(2-1))が実施され、それにはシラバスどおりの講義が実施されたかに関する質問事項(92, 99)があり、その結果は教員と学生にもウェブサイトで開示されている。(資料 9-1-(4-1)

(分析結果とその根拠理由)

教育課程の編成の趣旨に沿って、適切で記載内容が統一されたシラバスが作成され、活用されている。

資料 5-2-2-1

「学生への授業評価アンケートの質問事項」

Q1	先生の話し方は、明瞭で聞きやすかった。
Q2	授業・実習は、シラバスの授業計画に基づいて進められ、早すぎず遅すぎず、適切であった。
02	(座学・実験実習) 白板やプロジェクターなどの書き方や文字は、見やすかった。
Q3	(体育) 実技の指導、器具の扱いについての説明は分かりやすかった。
Q4	学生の質問、提出した課題、答案の回答に対して、納得できるように丁寧に説明、指導してくれた。
Q5	先生はクラスの雰囲気を、授業・実験実習に集中させていた。
06	(座学・実験実習) 教科書・問題集、実験指導書、プリントなどは理解しやすく、十分参考になった。
Q6	(体育) 実技種目のルールや目的など納得できるように説明してくれた。
Q7	授業・実験実習内容のレベルは、あなたにとって適切であった。
00	(座学・体育) 試験内容は、講義との関連性が適切であった。
Q8	(実験実習) 実験実習の内容は、関連する科目との関連性が妥当であった。
Q9	成績の評価は、シラバスに基づいて行われ妥当なものであった。
Q10	私は、この授業・実験実習に対して熱心な取り組みをした。
Q11	私は、この授業・実験実習の学習内容を理解し、興味を持った。
Q12	この授業・実験実習は、私にとって総合的にみて有意義なものであった。

(出典 高知高専学生授業アンケート)

観点5-2-③: 創造性を育む教育方法の工夫が図られているか。また、インターンシップの活用が図られているか。

(観点に係る状況)

創造性を育む授業として、設計製図、CAD、卒業研究等がある。

機械工学科及び電気情報工学科では1学年に対して、モノ(設計製作対象物)に触れること、壊す(分解する)こと、作ること、そして考えることなどの一連の行動を通して、「ものづくり」に対する興味を喚起するとともにそれについての基本的な素養を身に付けることを目的とした「創造設計基礎」を開講している。また、4学年には、機械工学科において学生を少人数のグループに分けて各研究室に仮配属し、与えられた研究テーマに関する基礎知識の習得、問題解決方法とプレゼンテーションの基礎を養うことを目的とした「創造設計演習」が開講されている。同様に、電気情報工学科では「創造性教育セミナー」を開講している。物質工学科で開講している「創造実験」では、授業や実験で習得した知識や技術を活用して、アイデアとデザインを取り入れながらオープンキャンパス等で実演する演示実験を組み立て、実験書にまとめ演示発表を行う(資料5-2-①-4)。環境都市デザイン工学科の「建築設計製図」では、基礎的建築模型の製作技術を学んだ後、実習、製作を繰り返し、概念構築、計画、設計実習を通じて、学生自らが自らを検証していくプロセスの中で創造性や独創性を養うことを目標としている(資料5-2-①-5)。

卒業研究は第5学年に8単位あり、数名の学生が一人の教員の指導を受け、少人数教育が実施されている。また、校外実習では、第4学年に企業等における製造、設計、技術開発、工事等の実務の実態にふれ、学校で修得した知識及び技能を裏付け、技術者としてまた社会人としての自覚を持たせるものである(資料5-2—③-1~3)。校内での実習報告会、企業等による実習評定書に基づいて学科会議で審議し、教務委員会において4日以上8日未満に対して1単位、8日以上に対して2単位が認定される(資料5-2—③-4)。

(分析結果とその根拠理由)

創造性を育む教育方法の工夫及びインターンシップが活用されている。

「校外実習実施要項」

3. 高知工業高等専門学校校外実習実施要項

制 定 平成4年4月23日 最終改正 平成21年4月1日

(1) 趣旨

企業等における製造,設計,技術開発,工事等の実務の実態にふれ,学校 で修得した知識及び技能を裏付け,技術者として又社会人としての自覚をも たせる。その教育的意義を認め教科としてこれを実施する。

- (2) 目的
 - ① 組織の中で働くことによって技術に対する社会の要請を知り、学問の意 義を認識するとともに、自己の創造性発揮の場を模索すること。
 - ② 学問と生産との総合的関連を体験することにより、実践的・技術的感覚 を養うこと。
 - ③ 技術に対する問題意識を養い、卒業研究における自立性を高めること。
- (3) 実施の時期

第4学年の夏季休業中に行う。但し、校外実習機関の都合で特別に休業前後の実習参加を認めた場合の欠席は公認扱いとする。

- (4) 実習の期間 実習期間は,2週間以上を原則とする。

校外実習機関の業務のうち、学生の所属する学科の教育内容に照らして、 教育効果があると判断される業務とし、あらかじめ校外実習機関と協議する ものとする。

- (6) 委員会等
- ① 校外実習に関する事項の処理は教務委員会がこれにあたる。
- ② 校外実習は、教務主事主管のもとに各学科長が計画し、校長の許可を得て実施する。
- ③ 校外実習に関し次の者を置く。
 - ア. 指導教員(担任あるいは学科で定めた実習指導教員)
 - イ. 派遣教員
 - ウ. 校外実習責任者(校外実習機関)

(出典 高知高専 平成 24 年度 学生便覧 P. 51, 52)

「校外実習実施要項」

- (7) 指導教員の任務
 - ① 教務委員会の方針に基づき、学生及び校外実習機関との連絡調整にあたる。
 - ② 校外実習中の学生の総括的な指導及びとりまとめにあたる。
- (8) 派遣教員の任務
 - ① 現地に赴き,学生の実習状況を視察し,実習に関し必要な指導を行い,「校外実習調査書」を作成し校長に提出する。
 - ② 指導教員との緊密な連携のもとに指導を行う。
 - ③ 同じ校外実習機関で2学科以上の学生が校外実習を行う場合は、学科問で協議の上、巡回の重複をさけることができる。
- (9) 校外実習責任者の任務

校外実習責任者は,原則として校外実習機関の配属先組織の単位の長とし, 実習機関の承認を得て校長が委嘱するものとし,任務は次のとおりとする。

- ① 校外実習実施にあたり、校外実習機関における校外実習の責任者として 指導計画を立て、その計画に基づいて校外実習中の指導を行い、修了後指 導結果として「校外実習評定書」を作成し、校長に通知する。
- ② 校外実習に関し、学校への希望事項等関連事項について連絡調整する。
- (10) 校外実習に係る報告書等
 - ① 校外実習報告書 学生は、規則第8条に定める「校外実習報告書」を実習終了後、速やか に指導教員に提出する。
 - ② 校外実習調査書 派遣教員は、別紙「様式1」の校外実習調査書により派遣の都度校長に 報告する。
 - ③ 校外実習評定書 校外実習責任者は,校外実習終了後,別紙「様式2」の校外実習評定書, またはこれに準じた様式により校長に通知する。
- (11) 実習報告会 各学科は、9月中に実習報告会を実施するものとする。
- (12) 指導要録

(出典 高知高専 平成 24 年度 学生便覧 P. 51, 52)

「校外実習実施要項」

指導要録には,実習期間,校外実習機関名その他の実習記録を残すものと する。

(13) 成績の評価

成績の評価は、各学科において学生が提出する「校外実習報告書」、校外 実習責任者が作成する「校外実習評定書」及び実習報告会の報告状況を総合 して合否の評価を行うものとする。

附則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。

様式1~2 (省略)

(出典 高知高専 平成 24 年度 学生便覧 P. 51, 52)

「校外実習報告会プログラム」

平成23年度 Z4 校外実習報告会

日時 平成23年9月6日(火) 8:35(点呼)~12:30

8:35 点呼

8:40 学科長挨拶、諸注意

-	発表者	実習先	題目	評価
8:50		株式会社轟組		3333 10.333
8:55		前田道路株式会社四国支店		
9:00		和建設株式会社		
9:05		株式会社西森建築設計		
9:10		株式会社響建設		
9:15		浅見俊幸建築設計室		
9:20		株式会社土居建設		
9:25		四国建設コンサルタント株式会社		
		休憩 9:35	点呼	9.5
9:40		国土交通省高知港湾・空港整備事務所		
9:45		京都工芸繊維大学		
9:50		土佐市役所		
9:55		株式会社NIPPO		
10:00		三菱地所コミュニティ株式会社		
10:05		株式会社公文建設		
10:10		国土交通省中村河川国道事務所		
10:15		ミタニ建設工業株式会社		
10:20		富士設計株式会社		
10:25		大阪ガス株式会社		
		休憩 10:35	5点呼	
10:40		有限会社創建築事務所		
10:45		矢作建設工業株式会社		
10:50		株式会社第一コンサルタンツ		17
10:55		株式会社響建設		
11:00		有限会社下元住研		
11:05		電源開発		
11:10		株式会社岸之上工務店		
11:15		株式会社富士ピー・エス関西支店		
11:20		株式会社益岡工務店		
11:25		高知県中央西土木事務所		
		休憩 11:35	点呼	100
11:40		株式会社総合企画設計		
11:45		福留開発株式会社		
11:50		西日本高速道路株式会社		
11:55		高知県中央東土木事務所		
12:00		高知県幡多土木事務所		

12:05 講評

発表番号	司会者	時計係
1~8		
9~19		
20~29		
30~34		

(出典 環境都市デザイン工学科4年 平成23年度校外実習報告会資料)

観点5-3-①: 教育課程の編成において、一般教育の充実や特別活動の実施等、豊かな人間性の 涵養が図られるように配慮されているか。また、教育の目的に照らして、課外活動 等において、豊かな人間性の涵養が図られるように配慮されているか。

(観点に係る状況)

 $1 \sim 3$ 学年では,週 1 時間(3 年間で 90 時間)の特別活動がカリキュラムに組まれている。その内容は,担任の話,スポーツ等とともに,外部講師による性教育,薬物乱用防止講話,交通安全教室,マナー教室等である(資料 5-3-(1-1)。特別活動計画書は半期ごとに学年主任が作成し(資料 5-3-(1-2),最後に学級担任が特別活動報告書を作成し(資料 5-3-(1-3),教務主事に提出され,教務委員会で承認される。

年度当初の教員会において担任としての心得、教務、学生生活、寮務関係の日常業務が示された「学級担任の心得および業務」が配付され(資料 5-3-①-4, 5)、学級担任はそれに基づき年間の業務を行う。また、学生生活の留意事項が示されている「学生生活関係留意事項」も配付され、教員はそれに基づき学生の指導を行う(資料 5-3-①-6)。

学校行事として,クラスマッチ,ロボコン,四国高専体育大会,四国高専総合文化祭,クラブリーダー研修,高専祭,体育祭が毎年実施される。それらは年度当初に配付される「行事予定表」(資料 5 -3 -2 -7 -9)に示され,それらの実施要項は学生生活委員会で審議される。その結果は主事から全教員に配布され,学級担任を通じて学生へと伝達されている。

(分析結果とその根拠理由)

特別活動計画書より教育課程の編成において、人間の素養の涵養への取り組みがなされており、特別活動報告書でそれが確実に実施されていることが確認できる。クラブ、学生会関係の学校行事には、全教員が積極的に参加しており、教育の目的に照らして、生活指導面や課外活動等において、人間の素養の涵養が図られるよう配慮されている。

「特別活動計画書」

平成24年4月4日

第1~3学年学級担任 各位

教務主事 勇 秀憲

特別活動の計画および実施について

特別活動は、高等専門学校設置基準に準じて実施するもので、その精神は担任教員を中心としたホームルーム活動にあります。実施にあたっては、週1単位時間を時間割上に配置し計画的に活動できるよう配慮しましたが、種々な特別活動を学年行事として実施することも含めて立案して下さい。なお、計画には以下の事項を配慮下さるようお願いします。

- (1) 特活時間数は、年間 30 単位時間以上実施することが必要です。下記(4)及び(5)を 含めて 30 時間以上実施できるよう計画して下さい。
- (2) 特活の内容は、通常の授業では行えないサークル活動、奉仕活動、生活指導、清掃活動、 講話等を中心に、学年に応じた工夫をして下さい。
- (3) 学級担任およびクラスの生活・環境委員等で合同協議して立案し、学年主任がとりまとめて下さい。計画書は、前期分を 4月 13 日(金)、後期分を 10月 12日(金)までに学年主任が主事室(教務)へ提出して下さい。
- (4) 学年別に次の内容を組み入れて下さい。

学 年	学 期	内 容	実 施 方 法	備考
1年	年度当初	ネチケット教育	4クラス合同	情報処理センター
	前学期	衛生教室(性教育)	"	学生主事室
	n	防犯講座	IJ	ji .
	<i>II</i>	人権学習	11	教務主事室
	IJ	「高知高専卒業後の進路につ	n	進路支援室
		いて」		
	11	「カウンセリングについて」	11	学生相談室
	後学期	交通安全教室	IJ	学生主事室
Ì	1)	人権学習	"	教務主事室
	11	「これからの社会に求められ	JJ	進路支援室
		る人材とは」		
2年	年度当初	ネチケット教育	4クラス合同	情報処理センター
	前学期	衛生教室(喫煙・飲酒)	11	学生主事室
	11	「挨拶と美しい動作、言葉づ	n	進路支援室
		☆2√7]		
	後学期	交通安全教室	ll .	学生主事室
	"	「自分の将来を見出すには」	11	進路支援室
į		環境教室	71	教務主事室
3年	前学期	薬物等乱用防止教室	2クラス合同	学生主事室
	n n	「社会人としてのマナー教	"	進路支援室
		室」		
		衛生教室(性教育)	"	学生主事室
	後学期	交通安全教室	JJ	"
	"	「インターンシップと進路に	n n	進路支援室
		ついて」		\44 m/a _l_ lot _l_
	"	「スーツの着こなし術」	"	進路支援室
		「裁判員制度について」	"	教務主事室
1~3年	前学期	校内清掃	4クラス合同	
	後学期	校内清掃	4クラス合同	

(出典 教務委員会資料)

「特別活動計画書」

平成23年 前学期

1年特活計画書

学年主任 宮川敏春

П			実施	内容		累積時数
月	日	1組	2組	3組	4組	於傾時数
4	6	学級オリエンテーション	学級オリエンテーション	学級オリエンテーション	学級オリエンテーション	1 • 2
1	11	1年生研修の係決め	1年生研修の係決め	1年生研修の係決め	1年生研修の係決め	.3
-	18	図書館オリエンテーション	図書館オリエンテーション	スポーツ(合同特活3,4組	スポーツ(合同特活3,4組	4
	25	スポーツ大会	高専と高校の違いについて	図書館オリエンテーション	図書館オリエンテーション	5
5	7	放課	放課	放課	放課	,
	9	カウンセリングについて(合同特活)	カウンセリングについて(合同特活)	カウンセリングについて(合同特活)	カウンセリングについて(合同特活)	6
	16	クラスマッチの話し合い	クラスマッチの話し合い	クラスマッチの話し合い	クラスマッチの話し合い	7.
	. 23	クラスマッチ学年練習	クラスマッチ学年練習	クラスマッチ学年練習	クラスマッチ学年練習	8
1	30	前期中間試験の取り組み	前期中間試験の取り組み	前期中間試験の取り組み	前期中間試験の取り組み	9
6	13	放課	. 放課	放課	放課	
	20	生活と学習面の心得	生活と学習面の心得	生活と学習面の心得	生活と学習面の心得	10
	27	衛生教室(学年合同)	衛生教室(学年合同)	衛生教室(学年合同)	衛生教室(学年合同)	11
7	- 4	人権学習(学年合同)	人権学習(学年合同)	人権学習(学年合同)	人権学習(学年合同)	12
	11	防犯講座(学年合同)	防犯講座(学年合同)	防犯講座(学年合同)	防犯講座(学年合同)	13
, =	15	HR·大掃除	HR·大掃除	HR·大掃除	HR·大掃除	14
9	1	校長講話・HR	校長講話・HR	校長講話・HR	校長講話・HR	15•16
9	5	進路支援の講演(学年合同	進路支援の講演(学年合同	進路支援の講演(学年合同	進路支援の講演(学年合同	17 .
	12	前期末試験の取り組み	前期末試験の取り組み	前期末試験の取り組み	前期末試験の取り組み	18

注意專項

- スポーツ大会, クラスマッチの練習に関して (1) 体育の授業の服装で行うこと。 (2) 生活委員は一般棟3階事務室前にある「体育施設・設備使用許可願」に記入し, 担任印をもらい 3日前までに第1体育館の体育教員に提出すること。

クラス合同で視聴覚室を使用するときは、視聴覚室座席表で指定された座席に座ること。

(出典 教務委員会資料)

「特別活動報告書」

平成23年度(前期) 特活実施報告書

クラス名:1年1組

各月ごとに記入してください

学級担任 福島英倫

月	累積時数	実施内容・感想など
4月	1·2 3 4 5	学級オリエンテーション ・自己紹介とクラス役員の選出。 1年生研修の係決め ・1年生研修についての説明と各係決め。 図書館オリエンテーション ・図書係の職員から図書館の利用についての説明を受ける。 スポーツ大会 ・体育館で男女混合のパレーボールを行った。自主的に楽しく行うことができ、クラス内の親睦が深まった。
5月	6 7 8 9	カウンセリングについて(合同特活) ・カウンセラーの近藤先生による『カウンセリングについて』の講演。 クラスマッチの話し合い ・各競技種目への参加選手の選出。 クラスマッチ学年練習 ・各クラスの体育委員をリーダーに、4クラス合同で行った。 前期中間試験の取り組み ・学習計画実行表を配布し、記入の仕方を説明。
6月	10	生活と学習面の心得 ・定期試験の成績評価の方法をプリントを配布して説明。個人成績表を各自に渡し、今後の取り組みについて指導した。 衛生教室(合同特活) ・三木先生による『思春期の性・性感染症』についての講演。
7月	12 13 14	人権学習(合同特活) ・岡本氏による『誰もが幸せにくらすために』という題目で、人権についての講演。身近にある人権問題等について分かりやすく教えていただいた。 防犯教室(合同特活) ・南国署の職員による『携帯電話に関する被害について』の講演。 HR・大掃除 ・夏休みの諸注意や宿題についての説明を行った。
9月	4.7	校長講話・HR ・夏休みの出来事について、各自1分間のスピーチを行った。 ・夏休みの出来事について、各自1分間のスピーチを行った。 進路支援の講演(合同特活) ・高専0Bの中谷氏による『グローバル時代にどう対応すべきか』という題目で講演。 前期末試験の取り組み ・前期中間試験の取り組みについての反省点を出させて、学習指導を行った。星瞬祭の係員 の選出。

(出典 教務委員会資料)

「学級担任の心得及び業務」

平成24年4月4日

学級担任の心得および業務

I. 学級担任の心得

- 1. 一人ひとりの学生を大切に育てるよう努める.
- 2. 日頃から学生とよく接触し、学生の意見に耳を傾け、学生の気持ちを十分理解するように努める.
- 3. 教科担当者, クラブ指導教員および主事補佐と絶えず連絡を取り合って, 学生の学校生活を十分把握しておく.
- 4. 副担任と連携をとり、協力して学生の指導に当たる.
- 5. 家庭と連絡を密にし、出欠状況や家庭での過ごし方など情報交換を十分に行う.
- 6. 長期休暇など、休暇中の学生の動向を把握し、緊急時に連絡がとれるよう体制を整えておく.
- 7. 留年生、学業不振者および留学生については、特に個人指導に心がける.

Ⅱ. 副担任の心得

- 1. 学級担任と協力して学級運営にあたる.
- 2. 担任の要請を受けて学生指導の良き協力者となる.
- 3. 担任不在の時は、担任代行として学生の指導に当たる.

Ⅲ. 学級担任の日常業務

担任の仕事には、平素の学生の生活面や学習面の指導の他に、HR教室の美化.特別活動の企画・実施、学期始めや学年末および定期試験前後の業務などがある.

以下、教務、学生および寮務関係に分けて詳述する.

A. 教務関係

1. 平素から、学生の悩みごと、勉強の仕方など個人的な相談に応じ、個人指導を充実させる. 特に、成績不振者 および出席不良者については、家庭との連絡を密にし、学校と家庭の両方で互いに協力し合って十分な指導を行う

指導の難しい学生は、副担任と協力し、学年会で話し合うなどして適切な指導に当たる. 学年団で指導が困難な場合は人権倫理委員会、学生相談室や担当主事の協力を求める.

- 2. 成績不振,専門科目への不適応,不規則な生活習慣,問題行動など,いろいろな理由から進路変更を考える学生が増えている. 成績や生活態度などで問題となる学生がいたら,学年会で対応を検討したり,保護者にその旨連絡したりするなどの対応をする.早期発見・早期対応は最善の指導となる.
- 3. 中途退学を考えている学生には、学科長やクラブ顧問などの先生方とも相談するように勧める. いろいろな先生方と話し合うことでよりよい道が開ける.

学生の一生にとって、高専時代は極めて大切な時期であることを心して学生指導に当たることが重要である.

4. クラスの状況を把握するには学級日誌が有効である. 日直者にその日のクラス内での授業・出欠状況,連絡事項及び日直者の感想などを記入させ学級運営に役立てる.

日直者の感想などに対しては担任所見を書く.これを続けていると学生もきちんと感想を書くようになり、クラス学生と担任あるいは学生同士の心のふれあいも深まる.

5. 学生への伝達事項を周知徹底し、諸届を速やかに提出するよう指導する. 欠席届、公認願の提出を遵守させ、事前に届出られない場合も登校後3日以内に手続きするよう指導する.

1~3年の学級担任は、朝8:30にHR教室に出向き、学生の出欠状況を把握し、連絡事項などを伝達する.

(出典 平成24年度 教員会配布資料)

「学級担任の心得及び業務」

- 6. 電子出席簿で出欠状況などを確認する.
- 7. 公認欠席は事由の発生を確認し、速やかに(事後3日以内に)届出を行わせる. 公認願は主事室で保管し、コピーを学級担任へ送ります. 学生指導にお使いください.
- 8. 行事の出欠状況を電子出席簿に入力する. 学校行事では、午前の点呼時に居なければ午前の 4 時間の欠課、午後の点呼時に居なければ午後 3 時間の欠課とする.
- 9. 清掃状況及び教室の戸締まりを点検する. HR教室の設備不良や破損個所については,教務係に連絡し速やかに改善を図る.
- 10. 特別活動は、通常の授業では取り組みにくい人間関係や心の問題などについて話し合うなど、人間として望ましい生き方を養う時間である. 総務委員や特活担当の学生と相談しながら運営することが大切である. 特別活動の時間は工夫して、計画的に有効に活用する.
- 11. 科目担当者との連絡を密にして、実験・実習・設計製図・体育等における学習状況を的確に把握し指導の参考とする.
- 12. 学校行事等の実施計画を学生に周知し、指導する.
- 13. 休学中の学生の生活状況を把握しておく.
- 14. 学生の欠席理由が明確な場合には、当面の間は電子出席簿のお知らせ機能を使って周知を心がける。
- 15. 通常の授業における座席表の作成し、座席表を教卓に置いておく.

B. 学生関係

1. 身だしなみや健康状態などに気配りした指導を行う. 特に、 $1 \sim 3$ 年においては、日頃より制服や頭髪についてもきめ細かく指導する.

「服装や身だしなみの乱れ」は、学生が問題を抱えていることのシグナルであることが多い.

- 2. バイク・自転車置き場を点検し適宜指導を行う. ステッカーの確認も行う.
 - 時々は、HRや休講の時間を利用して通学方法の確認を行うことも必要である.
- 3. クラブに所属している学生については、クラブ指導教員との連絡を密にし、互いに協力して指導にあたる.
- 4. 平素から保健室の看護師と連絡を密にし、問題を感じた学生の早期指導を心がける.
- 5. 奨学金や授業料免除などの申請指導を行う. その選考資料に所見を記入する.
- 6. 停学中の学生に対しては家庭訪問を行う. 家庭訪問がきっかけとなって問題のある 学生との信頼関係 が構築されることもある. 出来るだけ頻繁に家庭訪問をすることが望ましい.
- 7. 下宿生の日常生活および学習状況を充分把握し適切な指導を行う. 特に, 家庭との連絡を密にし, 下宿生の生活環境の改善などが必要な場合, その方法について保護者と話し合う.

C. 寮務関係

- 1. 寮生の日常生活及び学習状況を十分把握し、適切な指導を行う.
- 2. 寮生の指導処置に立ち会い、指導を受けた学生をよく観察し、寮務主事・補佐等と協力して指導する.
- 3. 寮生で気がかりなことがあれば、各学科の寮務委員や寮務主事・補佐に連絡する.

以上

(出典 平成24年度教員会配布資料)

「学生生活関係留意事項」

平成 23 年 4 月 4 日

学生生活関係留意事項

学生主事 土居 俊房

学生にとって高専の5年間は青春真っただ中で、子供から大人への脱皮の時期であり、生活 指導も非常に難しい時期です。低学年生の生活指導は"地道さ"と"きめ細やかさ"が大変重 要です。そのためには、我々教員同士が日々の情報交換や連絡をより密にし、連携を深め強化 していかなければなりません。一方、4、5年生の生活指導は"自律"と"社会性"を身につけさせること、すなわち、卒業後、"一人の社会人"、あるいは"技術者"として社会に貢献できる素養を学生に身につけさせることが重要と考えます。そのためには、本校の5年間にお いて"専門的な知識の習得"とともに"人間性の成長(人格の形成)"が必要不可欠です。"人 格形成の場"として教室、学生寮はもとより、それ以外にも課外活動やボランティア活動など も大いに推奨していきたいと思います。

学生の生活指導は一朝一夕では成し得ません。時間と労力が掛りますが、ひとりひとりの学 生が高専生活を充実させて元気に楽しく過ごすために、各先生方には根気強いご指導をよろし くお願いいたします。

- (1) 学生へ言い聞かせて頂きたいこと
 - ① 「挨拶」, 「礼儀作法, マナー」などを日常生活の中で身につけることの大切さ。② 「謙虚な気持ち」を忘れずに, 「人の話を聞く」姿勢の大切さ。

 - 「人命や人権」が大切であることを認識し、自分や他人を思いやる気持ちを持つこと。
 - ④ 「目標」を見出すこと、自分の夢や希望が叶うように努力することの大切さ。
 - ⑤ 自分で考え行動するとともに、判断力を身につけ自分の行動には責任を持つこと
 - ⑥ 学校は勉学、人間形成の場であり、その場にふさわしい態度・行動、服装および身だし なみが求められること。
 - ⑦ 学業、寮生活、クラブ活動やボランティア活動などは、考え(価値観)の異なる人や社 会との接点であり、人格形成では大切な場であること。
- (2) 学生との接触を大切にして頂きたい。
 - ① 学生は、先生との接触を望んでいます。課外活動、学校行事等の学生が参加する活動は その絶好の機会と思います。
 - ② 学生の名前を覚えて、できるだけ名前で呼びかけて下さい。
 - ③日常の挨拶や、褒めたり叱ったり積極的に声をかけてあげてください。
 - ④ 現在の学生には言葉だけでは通じないところがありますので、礼儀作法などについては 日常生活の中で具体的に指導してください。
 - ⑤ 学生には親のように温かく接し、目標達成のための努力の大切さを説き、社会的規範に 反する行為には厳しく指導してください。
- (3) 課外活動に伴う提出書類
 - ① 「課外活動担当教員配置日における集会行事許可願」 土曜日、日曜日の午前は担当教員が配置されています。午後は顧問の指導が義務付け られています。1カ月分をまとめて、25日までに主事室へ提出して下さい。
 - ② 「集会行事等許可願」 学外行事の参加および学内の活動時に主事室へ提出して下さい。
- (4) 禁止事項
- ① 法律や学校の規則に反すること。
- ② 学生としてふさわしくない行為。
 - ○授業中の私語、居眠り、他の教科の内職、携帯電話によるメール送受信など。
 - ○身だしなみ(服装、頭髪、装身具)、飲食しながらの歩行や教室等への持ち込み。
 - ○飲酒, 喫煙, パチンコ, 麻雀などは, 20才になっても校則で禁止。
- ○認められていないバイクの免許取得や、許可以外のバイクや四輪車での通学。
- ○他人を肉体的、精神的(メールによる誹謗・中傷)に傷つける行為や言葉。

(出典 平成24年度 教員会配布資料)

/er.7a			平成24年	度行	事予	定表			高知工業高等専門学
4月			5月			6月			7月
1 □ ↑…春季休業	1	火	授業参観日	1	金		1	8	
2 月 新任教員ガイダン	2 2	水		2	±		2	月	
3 火 寮役員がエンテーション	3	*	憲法記念日	3	В		3	火	
道営会議、教員全 各種委員会 1年生開寮(11:00 1年生寮内村リンテー	4	*	みどりの日	4	月		4	水	
5 木 入学式(本科·專政 入寮式(本科·專政 上級生開寮(13:00	(科) 5	1	こどもの日	5	火	···· 本科前学期中間試験 專攻科補調期間	5	木	
6 金 始集式 クラブ説明金 (午後) 全専攻科生村エンデーション 全寮生村エンデーション (19:3	(午後) 60)	B		6	水		6	金	
7 土	7	月		7	木		7	±	四国高専体育大会 水泳(阿南)
8 🗎	8	火		8	金	本科午後補講日	8	8	1
9 月 前学期開講	9			9	±		9	月	
10 火	10	木		10	B		10	火	
11 水	1	金		11	月		11	水	
12 木	1:	土		12	火		12	木	
13 金	1:	8		13	水		13	金	+
14 土	14	月		14		**************************************	14	±	
15	1!	火		15	金	前学期中間成績提出 (17:00)	15	8	四国高専体育大会 剣道, 陸上(高知)
16 月	11	水		16	±		16	A	海の日
17 火 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9-)	木		17			17	火	
18 水	11	金		18	月		18	水	月曜授業日
19 木	15	±		19	火		19	木	
20 金	20	8		20	水		20	金	本料服・大掃除(8限目)
21 ±	2	月		21	木		21	±	四国高専体育大会
22 目 開校記念日	2	火	・・・クラスマッチ	22	金		22	B	開寮 (10:00)
23 月	2:	水		23	±		23	月	
24 火2年生研修 (室戸青少年自然の	(家) 2	*		24			24	火	
25 水	2	金		25	月	1	25	水	
26 木	2	土		26	火		26	木	…夏季休業
27 金	2	7 8		27	水	本科学習指導期間	27	金	
28 土中国四国地区等科生研究交流		月	本科前学期中間試験発表	28	木	↓	28	±	
29 😝	2	火		29	金	…保護者会	29	B	
30 月 昭和の日	3	水		30	±	再試験	30	月	
	3						31	火	
クラス写真撮影 論部X線写真撮影 (間接) 身体測定。心電図検査 歯科検診、視聴力検査 内科検診 後援会役員会 5年生保護者会 寮避難訓練		後担 県体 専功	IX線直接機影 (全役員総会 (5/19-21) 料推薦選抜 実習ガイダンス (8時限目)		学教專消普中中	高校選手權大会 紹介 員健康診断 科学力選技試験(前期) 開發 教命講器会(数職員対象) 高專連絡会(四万十)(6/5) 高專連絡会(高知)(6/8) 料TOEIC団体受験		後援西クラ	高校選手権大会 会要・地区会 会更達力 会会 で会 で会 で会 が 特別関系

er.7a				平成24年月	E 行事	予定	表			高知工業高等専門等
	8月			9月	T		10月			11月
1 水	1	1	±		1	月	後学期開講	1	木	
2 木		2	B	開寮 (10:00)	2	火		2	金	
3 金		3	月	本科校長講話·体育大会 報告会(1時限),HR(2時限) 専攻科1時限,2時限休講	3	水		3	±	文化の日
4 土	オープンキャンパス	4	火		4	木		4	B	
5 B	\	5	水	***************************************	5	金	前期成績提出 (17:00)	5	月	
6 月		6	木		6	±		6	火	
7 火		7	金		7	B		7	水	
8 水		8	±		8	月	体育の日	8	木	···学校開放行事 「星瞬祭」
9 木		9	B		9	火		9	金	(準備日を含む)
10 金	…夏季休業	10	月		10	水		10	±	
11 生		11	火	体験入学	11	木	見学旅行期間(※)	11	B	全国デザインコンテスト (小山高寿)
12 日		12	水		12	金		12	月	臨時休校
13 月		13	木		13	±	全国プログラミング コンテスト(有明高専)	13	火	
14 火		14	金	本科前学期末試験発表 專攻科前期試験発表	14	B		14	水	
15 水		+	±		15	月	Î	15	木	
16 木		16	日		16	火		16	金	入寮募集告示
17 金		17	月	敬老の日	17	水	学習指導期間	17	±	
18 ±	全国高等大会 (バスケットボール、 卓球、委通)	18	火		18	木		18	8	
19 🖽	卓球、柔道)	+	水		\vdash	金		19	月	
	1	+	木		+	±	保護者会	20		
20 月	全国高考大会	21	· 金	1	21		··· 体级有五			金曜授業日
	(ハンドボール)	22	-	秋分の日			臨時休校		木	温温汉米日
22 水	全国高導大会	+	日日	40,7070	-		月曜授業日	23		勤労感謝の日
H	(硬式テニス)	+			\vdash		万吨区来口			3077 102 911 47 14
24 金	↑ 全国高專大会	+	月		-	水		-	±	
25 ±	(バレーボール、陸上 剣道、バドミントン)	25	火		25	木		25	1	高専ロボコン全国大会
26 日	全国高等大会 (水泳)	26	水	···本科前学期末試験 專攻科前期試験	26	金		26	月	本科後学期中間試験発表 入寮顯書受付開始
27 月	全国高専大会 (サッカー)	27	木		27	±		27	火	
28 火		28	金	午後補講日	28	B	高専ロボコン四国地区大会	28	水	
29 水		29	±		29	月		29	木	
30 木		30	B		30	火		30	金	
31 金	¥				31	水	份收 和产业担山		***	140 *
教職よう	▼ 教員研修 さこい祭り(8/10~11) ラブ合宿 市支部体育大会(8~10月のご 上特別開発	上日に見	教技科	11日別に実施)	31	学位 專攻 專 與	学修報告書提出 科学力選抜 (後期) 科社会人選抜 学旅行期間・・・・4日間実施 /10出発の場合は10/9は臨時	体 校	高校	総文

			平成24年度	行導	下:	定表			高知工業高等専門学校
12月			1月			2月			3月
1 土	1	火	元日	1	金		1	金	5年生成績提出(9:00)
2 日	2	水		2	±	専攻科特別研究発表会・ インターンシップ体験報告会(2年)	2	±	
3 月	3	木	…冬季休業	3	8		3	В	
4 火本科後期中間試験 專攻科補護期間	4	金		4	月		4	月	寮内大掃除期間
5 x	5	±		5	火		5	火	終業式·本科IR 本科学年末成績提出(9:00) 専攻科1年成績提出(9:00)
6 木	6	В		6	水		6	水	部屋替 (9:00)
7 金 本科午後補購日	7	月	開寮 (10:00)	7	*		7	木	5年生学科成績会議(午後)
8 ±	8		本科 1時限目(校長講話) 専攻科 1時限目(林講 2時限目(校長講話) 入寮願書受付締切(17:00)	8	金	本科卒業試験・学年末試験発表 専攻科後期試験発表 (1・2年)	8	金	卒業・修了判定会議 閉奈 (10:00)
9 🖨	9	水	月曜授業日	9	±		9	±	
10 月	10	木	1~4年生実力試験等, 5年生授業	10	B		10	B	
11 火	11	金		11	月	建国記念の日	11	月	…臨時休業
12 水	12	±		12	火		12	火	專攻科特別研究中間免表会
13 木	13	日		13	水		13	水	
14 金 本科後学期中間成績提出(17:00)	14	月	成人の日	14	*	2次入寮許可者発表(12:00)	14	木	学科成績会議 卒業式・修了式予行
15 土 四国高専総合文化祭	15	火	月曜授業日	15	金	11	15	金	卒業式・修了式
16 🖪	16	水		16	±		16	±	
17 月	17	木		17	B		17	B	
18 火 …本科学習指導期間	18	金	1次入寮許可者発表 (12:00) 2次入寮顯書受付開始	18	月	… 專攻科後期試験 (2年)	18	月	進級判定会議・教員会
19 水	19	±	本科前期科目再試験日	19	火		19	火	
20 木	20	B		20	水		20	水	春分の日
21 金 本科版・大掃除 (7限目)	21	月		21	木	···本科卒業試験・学年末試験 専攻科後期試験 (1年)	21	木	本科学習指導期間
22 土 奈内大掃除期間	22	火		22	金		22	金	
23 日 天皇誕生日	23	水		23	±		23	±	
24 月 閉察 (10:00)	24	木		24	B	本科入学試験(学力)	24	B	
25 火	25	金	2次入寮顧書受付締切(17:00)	25	月	午前補講日 入試採点 (午後)	25	月	
26 水 …冬季休業	26	±		26	火		26	火	
27 木	27	B		27	水	專攻科2年成績提出(9:00)	27	水	…学年末休業
28 金	28	月		28	*	5年生HR	28	木	
29 土	29			L			\vdash	金	
30 日	+	水		L			30		
31 月 学位小論文試験	31		到達度試験(1/10)	L	中日	国四国地区専攻科生研究交流会申 込	31	合材	→ 省鲁校日

「課外活動のしおり(顧問教員用)」

[1] 顧問教員への依頼事項

1. 顧問教員の仕事

- (1) クラブ予算原案作成の指導,執行上のチェック,および購入物品の管理
- (2) 学生の安全の確保(病気・けが)とその指導
- (3) 活動上必要な書類の承認・注意・指導
- (4) 対外活動の計画立案,引率および指導
- (5) 長期休業中の課外活動および宿泊練習の指導
- (6) 顧問会その他クラブ関係集会への参加
- (7) その他

2. 顧問教員の指導上の留意点

別紙「課外活動について」を参考に学生の指導をお願いします。 クラブリーダーには,4月上旬に配付します。

(1) クラブ予算原案作成の指導、執行上のチェック、および購入物品の管理

(1)-1

各クラブとも今年度予算案を 4 月中に提出することになっています。平成 24 年度も学生会予算は 非常にひっ迫しております。学生会執行部から、各部の予算額の削減をお願いすることになろうか と思いますが、原案作成段階等で、学生の相談にのって頂けますようお願いします。

昨年度同様、コーチ料補助は各クラブの予算内でご計画下さい。

(1)-2

予算配分は評議員会(5月)で決定されますが、それ以前であっても緊急でやむを得ない場合には、 昨年度予算の1/3を越えない範囲で備品等の購入ができます。

(1)-3

備品購入依頼票には顧問の承認が必要です。予算の使途および残高については、折りにふれてリーダーや会計担当部員にご確認下さい。

(2) 学生の安全の確保(病気・けが)とその指導

(2)-1

クラブ活動中に事故やけが等がおこらないように、安全について十分ご指導下さい。なお、救急救命講習会(6月)を開催し、事故発生時の応急・救命処置について指導を行っています。クラブ員には、緊急事態が発生した場合、応急処置をおこなうと共に、顧問並びに看護師(不在の場合は修学支援係)まで連絡して指示を受けるようにご指導ください。これらの教職員が不在の場合は、課外活動担当教員(土日午前中)、宿・日直職員(学校正門北側の守衛室)、寮宿・日直教員や校内にいる教職員に連絡して指示を受けるようにご指導ください。

(出典 平成24年度教員会資料より抜粋)

「課外活動について」

1. 課外活動

(1)課外活動

課外活動は学生が通常の授業時間外に自主的におこなう活動であり、一般に同じ目的をもって集まった団体的な活動が顧問教員の指導のもとにおこなわれるものです。



課外活動の内容を大別すると上のようになります。これらの活動のために、学生会長、副会長、書記長、評議員、執行委員長、局長、部長、科長、クラス役員などの役員がおかれています。

(2) 学生会のしくみ

① 決議機関



実行委員会(高専祭・体育祭・よさこい祭り・総合文化祭)



③ 特別な機関

選挙管理委員会会計監查委員会

(出典 平成24年度教員会資料より抜粋)

クラス委員

「高知高専クラブ紹介誌 Perfect Club Manual」

		男子バスケットボール 部								
	部長	Z5			部員数	16名 マネージャー 3名				
W	副部長	E4			顧問	武内秀樹、長門 研吉、 岡林宏二郎				
練習場所	金	第二体育	館 PM 4:30~6:30							
1011	±		第二体育	館 AM 9:00~12:00						
1 '	⊟ 水	第二体育館 PM 1:30~4:30 休み								
<主な年間計画>			<過去の活動実績>							
				H23年度						
4月 春季高校県大会					部支部大会	会優勝				
5月 県			県	リーグ戦々	4部 3位					
7月 四国高専総体					F度					
8月 全国高専大会					国高専総体	本準優勝				
9月 夏			冬季高校県大会ベスト8							
高校東部支部大会					H21 年度					
11月 秋季高校県大会				四国高専総体3位						
12月 冬	月 冬季高校県大会					東部支部大会優勝				
3月 春季高専大会					H20 年度					
			東部支部大会優勝							
4月~12月	4月~12月 一般リーグ戦(4部)			冬季高校県大会ベスト8						

<PR欄>

高専は勉強ばかりというイメージしかないと思いますが、過去の活動実績の通り、各大会に おいて上位成績を目指して取り組んでいます。そのため限られた練習時間の中で、集中して活 動するようにしています。

また、高校の大会とは別に、『高専大会』や『一般リーグ』があるので、様々な試合経験を することができ、低学年でも試合に出場する機会はあるので、普通高校より試合数は多く、い い経験になります。

高専は5年間なので、続けて練習すれば初心者の人もかなり上達します。低学年のうちは先輩もたくさんいますが、いい先輩ばかりなので楽しく続けることができると思います。15歳から20歳までが一緒にバスケをするのは高専ならではです。バスケに興味があって、一緒に頑張っていける人はぜひ入部してください。

(平成24年度 高知高専クラブ紹介誌「Perfect Club Manual」抜粋)

「1年生のクラブ登録状況一覧表」



(出典 平成23年度学生生活委員会資料)

「クラブ顧問一覧」

		平成	23年	度ク	ラブ顧問	問一覧	長				
										5月6	日作成
	クラブ名	主雇		副層	顧問	副履	顧問	副雇	頁問	副層	頚問
1	バスケットボール男子	武内		長門		岡林宏	二郎				
	バスケットボール女子	三嶋	尚史	山崎	慎一	松本	知子	多田	佳織		
3	バレーボール男子	澤本	章一	市木							
4	バレーボール女子	吉田	正伸	長山	和史						
5	ハンドボール	芝	治也	中林	浩俊	東岡由	里子				
6	サッカー	福島	英倫	藤原憲	一郎	秦	隆志				
7	野球	高野	弘	寺田	幸博	細川	光洋	永原	順子	大角	理人
8	卓球	横井	克則	成行	泰裕	高野		吉田	正伸		
9	テニス	土居	俊房	山崎	慎一	多田	佳織				
10	ソフトテニス	宮田	剛	森長	久豊						
11	柔道	岡田	将治	堀	佳城						
12	剣道	秦泉寺	俊弘	山口	巧	赤松	重則				
13	陸上	北村	一弘	小田	憲史	今井					
14	弓道	村本	真	永橋	優純	David	Grant				
	水泳	陳	強	松内		高田	拓				
16	合気道	高木	和久	赤山幸	≰太郎						
17	空手道	竹島	敬志								
18	少林寺拳法	山崎	利文	白木	久雄						
19	ダンス	安川	雅啓	中島	慶治						
20	バドミントン	西内	悠祐	秦	隆志	岸本	誠一				
21	フットサル	池谷江	理子	市木	一平						
	ソフトボール	岡林	南洋	宮川		栗田	耕一	竹内	光生		
23	ストリートバスケ(同)	池谷江		佐々木	正寿	勇	秀憲				
	サイクリング(同)	大角	理人								
25	英語		典子	David	Grant						
26	写真	三嶋	尚史	David	Grant						
27	ロボット研究	奥村	勇人	赤松	重則	宮田	剛	岸本	誠一		
28	吹奏楽	江口布		池上		西岡	建雄				
	美術	勇	秀憲	成行							
	無線		利文								
	天文気象		一雅								
	コンピュータ	谷澤	俊弘	今井	一雅	成行	泰裕				
	アースデイ	今井	典子	高野	弘		Grant				
34	書道	宮川	敏春								
	茶道			池谷江	理子						
	棋道	奥村	勇人	東岡由							
	軽音楽	中島	慶治	大角							
	漫画	中島	慶治								
	哲学の路(同)	高木	和久								
	映画☆研究(同)	高木	和久	[
	座禅(同)	David									
	文芸(同)	細川	光洋								
	演劇(同)	永原	順子								
"											

(出典 平成23年度 学生生活委員会資料)

観点5-4-①: 成績評価・単位認定規定や進級・卒業認定規定が組織として策定され、学生に周知されているか。また、これらの規定に従って、成績評価、単位認定、進級認定、 卒業認定が適切に実施されているか。

(観点に係る状況)

授業科目の成績評価は、試験・実技・作品・提出物・論文等の成績及び平素の学習状況等を総合的に考慮して決められ、具体的な成績評価の方法・基準はシラバスに記載されている。進級基準、卒業基準は教務委員会で審議された後、運営会議で承認され、「学則」および「教務内規」で開示される。それらは学生便覧にまとめられ、毎年全学生に配付される(資料5-4-①-1,2)。進級認定は進級判定会議、卒業認定は卒業判定会議が年度末に全教員参加で開催され、審議される。そこでは、進級基準あるいは卒業基準が、厳格に適用される。単位認定も同会議の審議を経て行われる。

(分析結果とその根拠理由)

各授業科目の成績評価方法・基準についてはシラバスで、また進級基準、卒業基準については学生 便覧で学生に周知されている。また、進級認定は進級判定会議、卒業認定は卒業判定会議で、全教員 によって審議され、適切に実施されている。

資料 5-4-①-1

「学業成績の評価」

- (2) 学業成績の評価
- (ア) 授業科目の成績評価は、試験・実技・作品・提出物・論文等の成績及び 平素の学習状況等を総合的に考慮して決められる(各科目のシラバスの「成 績評価の方法・基準」を参照)。

通常科目や選択科目などは、学年成績(学年末の成績)の評価が60点以上で、出席時数がその科目の授業時数の3分の2以上あり、原則として全ての定期試験を受験している場合は、単位の修得が認められる。なお、出席時数が不足で単位を認定されなかった科目は、評点が29点以下となる。

(イ) 卒業研究,校外実習,及び海外英語研修は,評価が「合」のとき単位の 修得を認められる。ただし,卒業研究にあっては出席時数が授業時数の3 分の2以上なければならない。校外実習は専門科目の単位,海外英語研修 は一般科目の単位となり,進級時に必要な累積単位数に含めてカウントす る。ただし,校外実習は第4学年においてのみ履修可能で在学中に累計2 単位以内,海外英語研修は在学中に累計2単位以内とする。

認定科目の単位修得は、単位の合計が30単位を超えない範囲で教務委員 会の審議を経て認定される。また、外国の大学や高等学校で修得した単位 についても、別途30単位まで認定される。これらの認定単位は、進級時に

必要な累積単位数に含めることができる。

(注1) 病気その他やむを得ない理由による長期欠席を考慮しても、出席時数 はその授業科目の授業時数の3分の2以上なければならないことになっている。正当な理由なく、みだりに欠席・欠課などをしてはならない。

(出典 学生便覧から抜粋)

資料 5-4-①-2

「進級及び卒業」

(3) 進級及び卒業

原則として、進級のためには履修した科目はすべて合格(学年成績の評価が60点以上)していなければならない。また、通常科目と選択科目及びこれらに準ずる授業科目にあっては、学年成績の5段階法(成績区分表の区分法 I)にその科目の単位数を掛け、単位当たりの総平均が3.0以上でなければならない。

成績区分表

区分法	100点~80点	79点~70点	69点~60点	59点~30点	29点~0点	
I	5	4	3	2	1	
П	優	良	ΠĴ	不可		
Ш	A	В	С	D	F	

不合格科目がある場合でも、各学科で定める修得が義務付けられている科目(学則別表1を参照)の不合格がなく、その学年までに履修したすべての通常科目と選択科目などの修得単位の合計が次に定める累積単位数以上なければならない。この他に特別活動の活動状況や出席時数(出席が授業時数の3分の2以上なければならない)なども考慮に入れられる。

卒業のためには、卒業研究に合格していなければならない。また、第4、5学年における指定された人文・社会、語学系科目の修得単位数の総計が6単位以上、専門基礎科目(応用数学、応用物理、情報処理関連)の修得単位数の総計が6単位以上であること(学則別表1を参照)。

(注)正当な理由なく出席常でない場合には、進級または卒業に関する基準 にかかわらず進級または卒業を認められないことがある。

①平成19年度以降入学者に適用

一般・専門の別	合計 単位	学年別累積修得単位数							
		1学年	2学年	3 学年	4 学年	5 学年			
一般科目修得単位数	75		_		71	75			
専門科目修得単位数	82				50	82			
修得単位数の合計	167	28	60	93	131	167			

②平成18年度以前入学者に適用

OF STREET	合計	学年別累積修得単位数						
一般・専門の別	単位	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年		
一般科目修得単位数	75	-		-	70	75		
専門科目修得単位数	82	-	-	1-1	50	82		
修得単位数の合計	167	29	62	95	130	167		

(出典 学生便覧から抜粋)